



講座二日、実習一日からなる三日間の講座



# 菜園インストラクター検定講座

- ・専門家による野菜栽培の技術大系
- ・全国取材から生まれた現代農家の最新事例と裏技集
- ・野菜栽培のレッスンプロが生み出した教育・学習プログラム



菜園インストラクター検定講座では、参考教材に「ルーラル電子図書館」を採用。同図書館には、専門家による野菜栽培の技術大系や社団法人・農山漁村文化協会の全国取材に基づく現代農家の最新事例・裏技が収録されています。

電子図書館の情報を野菜栽培のレッスンプロが生み出した教育・学習プログラムに沿って配列、元農業環境技術研究所所長・西尾道徳先生の監修を受けて、講座テキストができあがりました。



## 専門家の執筆と全国取材で、食&農の七分野を網羅 参考教材「ルーラル電子図書館」

参考教材として使われるルーラル電子図書館は、専門家による栽培技術の解説、社団法人農山漁村文化協会の全国取材に基づく農家の事例、農業基準などが毎月更新されています。

栽培技術や農業情報は、プロ農家への指導や農業高校・新規就農者への農業入門教育で使われてきたもの。高齢化した農家や女性ができる小力農法は、体力や手間を使わない農法。週末菜園でも役立ちます。会社勤めや家事、忙しい農家の主婦のお料理法は、食生活でも生きるでしょう。

各種肥料や防虫ネット、マルチなどの材料の特徴を图表、写真入りで解説、水や肥料のやり方、菜園でのヒモの結び方など、ちょっとしたテクニックについての説明も充実しています。

天敵を繁殖させたり、ハーブを使ったりして農業を極力使わないIPM(総合的有害生物管理)に取り組む農家の事例や学校菜園の指導書等、栽培・販売・加工・食・健康・美容・癒しの七分野に渡る情報が網羅されています。



- **栽培技術**
  - ・専門家による野菜の栽培技術大系
  - ・農業高校や新規就農者向けの入門書
- **週末菜園や食生活にいきる裏技**
  - ・高齢者の小力農法
  - ・農家の主婦の手作り料理
- **有機無農薬栽培**
  - ・プロ農家の実践事例
  - ・最新の農業基準情報
- **食・健康・美容・癒し**
  - ・野菜を使った漢方薬膳
  - ・産地農家の食卓レシピ
  - ・おいしい野菜の育て方、見分け方
  - ・全国の農家がしている「自然体験イベント」
  - ・昭和の食をカラー写真で再現～食生活全集
- **子ども達ができる方法**
  - ・学校園の栽培便利帳
  - ・子どもが作れる簡単レシピ
- **執筆者・取材元・専門家、農家一万五千人**
- **カラー画像：一万五千点**

## 野菜栽培レッスンプロによる教育・学習プログラム

### ● 十一パターンで覚える野菜の育て方

代表的な野菜は、全部で約百種類。生物や肥料、いろいろな分野の専門家が野菜を分類してきました。それらの専門的研究を踏まえた上で、「初心者が見える」と言う観点から、当協会所属「野菜栽培のレッスンプロ」が野菜の育ち方を十一パターンに分類。三日間の講座で、パターン毎の育て方の特徴を丁寧に説明いたします。

### ● 骨格やインナーマッスルを動かすメソッドで、クワも楽々！

北京五輪リレーメダリストが未選手の「体幹駆動」。ニューヨークのセレブ達が愛好するフィットネス「ピラティス」。共通しているのは、骨格やインナーマッスルを使う体の動かし方です。

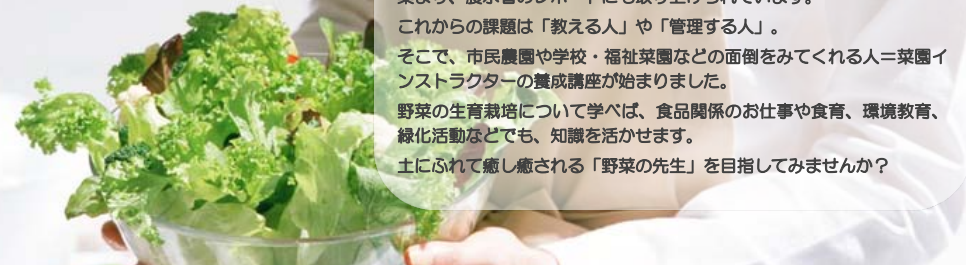
この発想を、当協会所属「野菜栽培のレッスンプロ」が農作業に応用。初心の方がクワの使い方を覚えるメソッドを開発しました。三日間の講座でこうしたメソッドも体験。土にふれたことのない方でも、楽々、クワが使えるようになります。

■ お問い合わせ：日本リトルファーマーミング協会

〒162-0845 東京都新宿区市ヶ谷本村町2-11外濠スカイビル8F 株式会社アシストシステム研究所 気付

● メール：info@saien-kentei.jp ● ホームページ：http://www.saien-kentei.jp/

# 土にふれ、癒し癒される 「野菜の先生」を目指して 野菜の生育・栽培過程を学ぶ三日間



耕す人がいなくなった「耕作放棄地」の面積と比例するように市民農園の数が増えています。

ドイツでは、クラインガルデンと呼ばれる市民菜園産の野菜が全流通量の4割を占めると言われています。ひょっとしたら、日本でもと期待が集まり、農水省のレポートにも取り上げられています。

これからの課題は「教える人」や「管理する人」。

そこで、市民農園や学校・福祉菜園などの面倒をみてくれる人＝菜園インストラクターの養成講座が始まりました。

野菜の生育栽培について学べば、食品関係のお仕事や食育、環境教育、緑化活動などでも、知識を活かせます。

土にふれて癒し癒される「野菜の先生」を目指してみませんか？

# 菜園インストラクター検定講座 講座のご案内



## 土にふれ、癒し癒される仕事への出発点。

## 生育・栽培の知識を持って、人に接する「野菜の先生」 ～ 菜園インストラクター

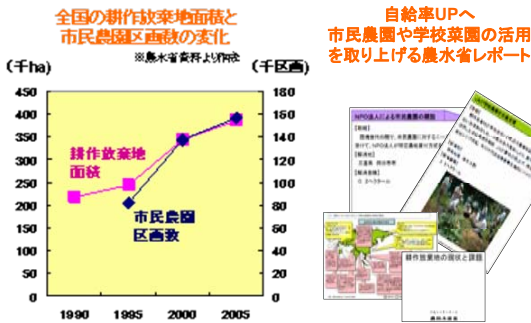


菜園インストラクターは、日本リトルファーム協会が認定する「野菜の先生」の資格です。

菜園インストラクター検定講座では、座学二日、実習一日からなる三日間の講座の後に実施される試験に合格された方を「菜園インストラクター」に認定しています。認定後は、野菜の生育や栽培過程の知識を学び、市民農園や体験農園の管理や野菜の育て方を教える先生役として活躍することが期待されています。

### 急増する市民農園。管理者や先生役の確保が課題

全国の市民農園区画数は、耕作放棄地面積に比例して増加。農水省のレポートでも、耕作放棄地の対策として取り上げられています。これからの課題は、市民農園を管理したり、市民に栽培方法を教える人の確保です。



### 野菜の四割を供給するドイツのクラインガルデン

ヨーロッパでは、生活の中に野菜の栽培が根付いています。

素朴に畝をたてて野菜を育てるキッチンガーデン(イギリス)、お花も育てておうちのお庭のようにするクラインガルデン(ドイツ)、オブジェも置いて庭園のようにデザインするポタジェ(フランス)とそれぞれの文化に根ざした市民農園が生まれています。ドイツではクラインガルデン産の野菜が全流通量の四割を占め、1950年代まで世界最大の食料輸入国と言われたイギリスは、いまや穀物自給率130%と輸出に転じています。

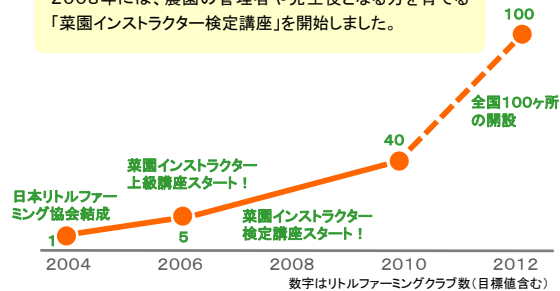


### 市民農園ビジネスやレッスンプロの訓練菜園～リトルファームクラブが全国に展開!

日本リトルファーム協会が「リトルファームクラブ」と認定した体験農園などが各地で展開しています。「株式会社マイファーム」や「有限会社お陽様村」では、市民農園をビジネスとして展開。企業の福利厚生や福祉関係者、幼稚園の方々にご利用頂いています。野菜栽培のレッスンプロが自ら開いた菜園「ハヶ岳いずみした菜園」も生まれました。



日本リトルファーム協会では、体験農園「リトルファームクラブ」の全国百ヶ所での展開を目指しています。リトルファームクラブのオーナーや経営者となる「マスター」の養成講座(菜園インストラクター上級講座)は2006年スタート。2008年には、農園の管理者や先生役となる方を育てる「菜園インストラクター検定講座」を開始しました。



## 自然な暮らしや食の安心・安全へ高まるニーズ

自然な暮らしや食の安心・安全への関心が高まる中、一般市民・消費者の中で、野菜の生育・栽培過程について知りたいというニーズが高まっています。

### 法改正で増大する民間版市民農園

市民農園法の改正により、NPOや株式会社でも、市民農園が開設できるようになりました。全国の市民農園の区画数は5年で1.5倍に増えています。



### 「育つ過程をきれいにみせる」公園や観光施設で菜園設置が流行

都市公園や展望台施設の前庭などで菜園の設置が流行しています。来場者に野菜が育つ様子を紹介するために、菜園づくりの知識が求められています。



### 「インストラクターを派遣してほしい」住宅関係業界

「市民農園付きで住宅を売りたい、野菜の栽培を指導できるインストラクターを派遣してほしい」。当協会にデベロッパーの方から、相談が寄せられています。



### 「育ち方が分かる」から説明できる食品(生産、流通、小売、外食等)

「野菜の生育・栽培」過程に関心を持つ一般市民・消費者が増えています。野菜がどのように育つか理解できれば、お客様への説明も説得力を増します。



### 「省庁、自治体に講師登録」環境教育、食育のガイド

環境教育基本法、食育基本法が成立。省庁や自治体では、環境や食のスペシャリストをデータベースに登録、学校や企業がその情報をみて講師依頼をする例が頻繁にみられます。



### 「野菜栽培法を教える人」を求める農村地域



農家が高齢化し、耕作放棄地は5年で1.5倍に。農地を体験農園として活用するため、栽培方法を教える人が求められています。

### 「野菜を育てたら入園児が増えた幼稚園も出現」



園庭で野菜を育てて食育に取り組んだら、入園児が増えた幼稚園もあります。農水省が「スクールファーム」を提唱、学校での農作業体験が推奨されています。

### 福祉施設では「就職に有利」と言われた例も



リハビリや社会参加のため野菜栽培に関心を持つ福祉関係者も増えています。「野菜の栽培方法を知っている人」が福祉施設の就職で有利となった例もあります。

### 「栽培法講習会を定期的開催」地域の緑化ボランティア育成



多くの自治体が、公園や道路の緑地帯管理をボランティア団体や町内会に委託する制度を設けています。緑化ボランティア育成のため、栽培法を学ぶ講習会を定期的に開催している例も見受けられます。

### 「相談会や講習会も開催」ホームセンター



ホームセンターで「野菜を育てたい、どんな道具や肥料を使えばいいか?」と質問するお客様が増えています。店舗では、講師を招いて、栽培法の相談会や講習会を開催する例も目立っています。

市民農園、公園、学校、福祉施設で野菜の育て方を教えたい!  
ホームセンターで野菜の生育・栽培過程をお客さんに伝えたい!  
地域の環境教育、食育、緑化活動のリーダーを目指したい!

そんなあなたのために「野菜栽培のレッスンプロ」と、一万五千人の専門家がお届けする3日間。